

感謝

平成29年度が終了しました。今年度も地域の皆様に支えられて、東海中学校の生徒は元気に登校し、学校行事や学習、部活動と、学校生活を満喫したことと思います。本校の二大学校行事と言われている運動会と音楽祭では、生徒主体の自主的運営がなされ、参観いただいた保護者や地域の皆様に高く評価されたところです。

その運動会では、昨年度から組体操に一定の制限が加えられました。そこで本校では、「高さ」ではなく「力強さ」を求めて男子生徒が演技しました。その一つがラグビーでも有名な「ハカ」の演技です。また、従前、衣装に工夫を凝らした女子ダンスでは、体育着で演技し、表現に工夫を凝らすことを目的としました。一方、昨年度、都立八潮高校で開催された音楽祭は、区の方々のご好意で従来の「きゅりあん」での開催が可能となり各学年、各クラス共に素晴らしいハーモニーを表出してくれました。来年度も「きゅりあん」の予約は取り付けています。

他方、部活動に目を移すと、金償に輝いた吹奏楽部をはじめ、多くの部活動もまた、大躍進してくれています。加えて、様々な形で活発に展開していますボランティア活動も、生徒の成長をしっかりと促してくれています。

生徒の活躍とは別に、本校は、本年度から都の指定を受け、体力向上と運動に距離を置いている生徒への運動の場と機会を提供する取組を模策する「スーパーアクティブスクール」としての実践研究に取り組んでいます。学校だよりも報告していますが、現在は、体育授業のない曜日の朝学習の15分間の時間を活用して、学年毎に運動に親しんでいます。7年生は週2回、校庭でトークランニング（自分のペースで、おしゃべりをしながらもOKのランニング）を中心に、8・9年生は体育館で長縄の全員での連続跳びや連続8の字跳びに挑戦しています。また、教室のICT環境を利用し、作制したDVDを放映しながら、アイソメトリックトレーニングにも励んでいます。来年度からは、コーディネーショントレーニングも取り入れる予定です。

この実践研究にていては、本年11月1日（木）午後に、研究発表会を予定しています。

いずれにしても、これら生徒の活躍は、地域の皆様や関係機関の皆様のご支援の賜物であると心から感謝申し上げます。来年度も変わらぬご支援の程、よろしく願いいたします。

30.03.30 校長 野口敏朗

